

NDC 日本ドライケミカル株式会社

日本ドライケミカル株式会社

- 資本金：7億54万円
- 設立：1955年4月
- 従業員数：連結830名(2019年3月末)
- 本社所在地：〒114-0014
東京都北区田端6-1-1
田端ASUKAタワー
- 事業内容：自動火災報知設備・消火設備の設計、施工、メンテナンス
消火器・消防自動車の製造、販売
- URL：<https://www.ndc-group.co.jp>

当社は、1955年に日本初の粉末消火器の製造・販売を主業として設立された。以来、煙・熱を感じて報知する自動火災報知設備から、最適な消火薬剤を駆使して消火する消火器、消火設備、消防自動車まで幅広く展開する総合防災企業となる。

消防用機械器具は、国家検定品という一定の基準をクリアしたものでなければならぬ。なか、当社は、従来の概念にとらわれないのではない次世代の防災製品・システムの研究開発を進めている。

近年の成果としては、従来型より消火能力の高い、高性能型消火器(NDCプレミア90)を製品化した。

消防自動車では、ユーザーのニーズに沿った車両づくりを特長とし、当社固有の泡混合機(プロポーションナー)と泡原液タンクを搭載



軽くて丈夫なアルミニウム製消火器



福島の研究開発拠点 (2016年新設)

した廉価な化学消防車を実現した。また、泡消火薬剤は、世界的にも環境対応が喫緊の課題となっており、環境にやさしい泡消火薬剤の開発を急いでいる。(POPs条約のもと、残留性有機汚染物質の削減除去が広範囲で進められており、泡消火薬剤に副産物として含まれているPFOS、PFOAも規制対象物質となる。)

さらには、大型バスのエンジンルーム火災対応の消火システムについて、当社は日本で初めてTUV(国際認証)を取得した。(大型バスのエンジンルーム火災対応の消火システムでは、UNECE「国際連合欧州経済委員会」のもとでの車両にかかる規格基準Regulation 107に詳細が定められる。)

当社は、このような取り組みから新たな付加価値を創造することで、社会の一層の安心・安全に寄与していく。

MESSAGE

消防防災に
100%の答えはない

社長

遠山 榮一
とよやま えいいち



当社は、幅広い消防機器・設備の製造・エンジニアリングを主業としています。近年の建造物、複合施設は日々大きな変革、変質を遂げており、従来の消防設備ではカバーできないケースもあり、ニーズが多様化しています。残念ながら、糸魚川市大規模火災、首里城火災といった大規模火災の発生や、京都アニメーション放火事件のような、想定外の事件も起きました。消防防災に100%の答えはありません。当社は、その答えに少しでも近づくことを目標として、革新的で環境に優しい消火薬剤、消防機器・設備の開発に力を注いでいます。

今後、日本の消防防災は大きく変わっていく、また変わっていくかなければなりません。当社は、その最先端を歩む企業の一社であり続けたいと思っています。

経団連会員の皆様、消防防災にかかわるご相談、ご質問等ございましたら、ぜひ当社までお問い合わせください。